



手前が多目的に使える交流スペース、奥に遊具やあずまやがある

町が19年度から整備を進めていた内子文化創造センター前広場(愛称:「内の子広場」)が完成し、9月12日から一般に開放されました。

同広場は芝生敷きで、大きな催しなどにも利用できる交流スペースのほか、子ども向けの遊

みんなに愛される公園に 「内の子広場」が完成

大震災に備えて自助・共助の意識を高めよう

内子町防災研修会



④会場の様子 ⑤「災害で死なないためには敵(地震)を知り、備え、対処すること」と語る高橋副センター長

「内子町小学校外国語活動実践セミナー」は8月31日、内子自治センターで開かれ、町内の小・中学校教諭など約100人が、本年度から5・6年生を対象に必修となった小学校外国語活動の指導について学びました。

外国語を通して心豊かな子どもたちを育てよう

小学校外国語活動実践セミナー

講師を務めた文部科学省初等中等教育局・直山木綿子さんは「活動の目標は外国語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする心を育てること」と語り、実践的な指導方法を具体的に紹介しました。



子ども一人一人に心を配りながら活動の目標に沿って授業を進める方法を模擬授業なども交えて解説

内子町防災研修会は9月4日、文化交流センタースバルで開かれ、各自主防災組織の役員や消防団員など約380人が参加しました。

はじめに東日本大震災後、岩手県釜石市で救助活動にあたった大洲消防署・萬奥克利さんが現地の様子などを報告。続いて、福島原発の事故を受けて伊方原子力発電所で新たに行われた地震対策などについて、四国電力(株)・山下佳樹さんが説明



西日本障害者ソフトボール 悲願の2度目の優勝を達成

内子ブルースカイ



「内子ブルースカイ」の皆さん

「第21回西日本障害者ソフトボール大会」が7月18日、山口県で開かれ、内子ブルースカイ(山本勝美代表)が優勝を果たしました。同チームは第5回大会から16年間連続して出場しており、2度目の優勝となりました。

同大会には、山口、広島、福岡など西日本の各県から16チームが参加。試合はトーナメント形式で、1チーム10人制、そのうち3人まで健常者が出場できるというルールで行われました。

内子ブルースカイは、

内子町身体障害者更生会(宇都宮正代表)の体育部として活動しています。山本代表は、「健常者が参加するようになってから優勝するのは初めて。昨年は決勝戦で敗れてしまい、優勝はチーム全員の悲願だったので、とてもうれしい。チームの人数は少なくなってきたが、これからも頑張っている」と話していました。



修理箇所を一つ一つ見学しながら熱心に説明を聞く参加者たち

重要文化財「上芳我家住宅」 の歴史や価値を学ぼう

上芳我家学習会

保存修理工事が完了した重要文化財「上芳我家住宅」で8月7日、学習会が開かれました。参加者は邸内を見学しながら、修理作業によって明らかになった建物の変遷や特徴などについて学びました。

学習会は今後も継続して開かれます。参加を希望する人は、町並保存センター(☎08931441521)までお申し込みください。

なお同住宅は11月から再び木蝨資料館として一般公開される予定です。

農と食のもののしり博士に

内子の農と食検定

第1回「内子の農と食検定」(家族検定)は8月27日、(株)内子フレッシュパークから開かれ、町内外から13家族31人が挑戦しました。

同検定は、内子町の農産物や食文化などへの理解を深めてもらうことを目的に開催。同検定ホームページに掲載された内容から出題されます。



設問は全部で30問。家族で相談しながら楽しく解答していく